



### 断層がつくったまっすぐな谷！

赤磐市北部の塩木地区には、菊ヶ峠から吉井川方面へ伸びたまっすぐな谷筋が見られます(図1の破線と図2)。これは断層に沿ってできる破砕帯と呼ばれる破壊された岩石片と粘土からなる軟弱な部分が侵食されてできた地形で、「塩木の断層線谷だんそうせんごく」と呼ばれています。



図2

この谷を作った断層は、岡山市北区御津から赤磐市仁堀と塩木を通り、吉井川を越えて、美作市英田地区へ至る約30kmの延長を持つ大断層であったと推定されています(岡山県内地质図作成プロジェクトチーム, 2020)。吉備高原の内部には、このような直線状の谷がいくつも見られますが、それらは活断層ではなく、すでに活動を停止した「地质断層」によってつくられた地形だと考えられています。

### ジオポイント

#### ●左横ずれ断層

塩木の断層線谷の周辺には舞鶴層群および花崗岩(図3の薄い朱色部分)と呼ばれる地質が分布しています。この2つの地質は美作-岡山道路の吉井インターチェンジ付近で接しているのですが、その境界は地质断層を介して水平方向に約300mずれています。断層を挟んで手前(南東側)から奥(北西側)を見ると、地質境界は左へずれています。このことから、塩木のまっすぐな谷をつくった断層は左横ずれ断層であったと考えられます。



地質資源解説動画の第2弾として、市内の地形や地質などについて分かりやすく紹介した動画を作成し、市公式YouTubeへ掲載しています。ぜひ、ご覧ください！



もっと知りたくなった人は、地球史研究所の先生に聞いてみよう！

▶地球史研究所 ☎956-3538 (※外出中で不在のときもあります)

●問い合わせ先 / 本庁政策推進課 ☎955-2692